

2024.4.28

六角橋教会

週報

主任牧師 佐藤 栄一
伝道師 柴田 朋子

報	祝	讚	献	讚	祈	説	讚	聖	祈	讚	信	交	主	讚	招	奏		†
告	禱	美	美	美	禱	教	歌	書	禱	歌	白	編	祈	美	詩	樂		聖
		二七	五二				一五三	ペトロの手紙二 1章 16〜21節 ネヘミヤ記 8章 1〜12節	二八		(使徒信条) 九三(4の1A)	一一九編 105〜112節	九三(5A)	四三六	エゼキエル書 36章 26a, 28b節	川嶋 真理姉	(司会) 最勝寺真美姉	前11時
						「御言葉に立つ教会」 柴田朋子伝道師												

§ 今週の集会

- 日曜学校 28日前9時
 季刊委員会(1) 28日礼拝後
 5月定例教師会 28日後1時
 シヤローム委員会(1) 28日後1時
 祈禱会 1水前11時(佐藤牧師)

◆ 今日のお花のご奉仕は、奥居洋子姉です。

◆ 今週の会堂掃除は、礼拝後、有志でお願いします。
 どうぞよろしくお願いします♪
 (2・3F礼拝堂のみ)

◆ 祈禱会の時間 今週は11時からです。
 詳細は役員会報告をお読みください。

〈礼拝当番〉(オンラインでは割愛)

(今週)

(次週)

(当番役員)

今日の聖句

旧約聖書（ネヘミヤ記8章1〜12節）

1 民は皆、水の門の前にある広場に集まつて一人の人のようになった。彼らは書記官エズラに主がイスラエルに授けられたモーセの律法の書を持つて来るように求めた。2 祭司エズラは律法を会衆の前に持つて来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。

3 彼は水の門の前にある広場に居並ぶ男女、理解することのできる年齢に達した者に向かつて、夜明けから正午までそれを読み上げた。民は皆、その律法の書に耳を傾けた。

4 書記官エズラは、このために用意された木の壇の上に立ち、その右にマティトヤ、シエマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤ、マアセヤが、左にペダヤ、ミシヤエル、マルキヤ、ハシユム、ハシユバダナ、ゼカルヤ、メシユラムが立った。

5 エズラは人々より高い所にいたので、皆が見守る中でその書を開いた。彼が書を開くと民は皆、立ち上がった。6 エズラが大いなる神、主をたたえると民は皆、両手を挙げて、「アーメン、アーメン」と唱和し、ひざまずき、顔を地に伏せて、主を礼拝した。

7 次いで、イエシユア、バニ、シエレブヤ、ヤミン、アクブ、シヤベタイ、ホデイヤ、マアセヤ、ケリタ、アザルヤ、ヨザバド、ハナン、ペラヤというレビ人がその律法を民に説明したが、その間民は立っていた。8 彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。9

総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラは、律法の説明に当たったレビ人と共に、民全員に言った。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。10 彼らは更に言った。「行って良い肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えない者には、それを分け与えてやりなさい。今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」11 レビ人も民全員を静かにさせた。「静かにしなさい。今日は聖なる日だ。悲しんではならない。」12 民は皆、帰って、食べたり飲んだりし、備えない者と分かち合い、大いに喜び祝った。教えられたことを理解したからである。

* 個人消息(オンラインでは割愛)

◆ 今年度の「会員名簿」と「教会連絡網」が5月に発行されます。住所変更や連絡方法の変更は、4月28日(日)までに事務スタッフまでお知らせください。

* **予告** 受洗準備会のお知らせ

ペンテコステ前の受洗準備会が始まります。5月7日(火)に第1回目を開きます。関心のある方はお気軽に牧師か、係(酒井兄・成島姉)にお申し出ください。

◆ 二つの緊急募金のお願い 教団社会委員会から

- ① 能登平島地震緊急救援募金
 - ② 台湾地震緊急救援募金(本日から)
- どちらも受付の募金箱をお願いします。また振り込みや現金書留など、ご都合のよい方法で。

§ 前週の報告

聖日礼拝	21	男	57	女	計	(求)	(献金)
祈祷会	1		9		10	(1)	
							六〇、一八五円

§ ささげもの(オンラインでは割愛)

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋一の二六の八
 電 話 〇四五(四三三)〇六九四
 F A X 〇四五(四三三)〇一九四
 郵便口座 10950・13736771
 日本基督教団 六角橋教会